

尾瀬 燐ヶ岳

1993.4.24~25

鈴木鉄也（大木、荒木）

豊富な残雪と、春の穏やかな陽光が良く似合う、山スキーがピッタリとくる雰囲気があるのが、妙高と、そして尾瀬だと私は思っている。

今回は、初心者の講習会向きに、下にテントを設営し、天気の動向を見ながら、燐ヶ岳へ登るプランだった。

4/24(土)

暗いうちに、松枝岐に車で到着。通行止めの仮ゲートがしてあるが、その先の七入まで行けた。そこでゲートには鍵がかかっており、七入橋の脇で仮眠。

4時半には明るくなってきた。七入小屋の駐車場に車を停めて、除雪道を板を担いで歩く。最後の大きくなづら状に回り込む手前で、除雪車が放置してあり、そこからシールを付けて、次に回り込む場所から道路から離れる。少し急になると、途端にコケ出す。ブナ平の台地になる所で、テントを設営する。

ツェルトに水と食料だけで、軽荷になったザックを背負い、再びブナ平の緩い斜面をトロトロと歩き出す。薄曇り or 薄陽射す、レンズ雲がかかった、やわらかな陽が差す、崩れそうな空模様だったが、陽に焼けない、程よい天気の中、見えた燐ヶ岳を目指す。御池のそば、再び道がカーブする所で、ロッジと沼山峠に向かう道の中間を、ゆるい台地に沿って進む。急な登りとなる。広沢田代で一息ついて、又、急登となる。登りきる手前で、1名大転倒。熊沢田代は一旦、下りとなり、その先の最後の樹林帯の切目で登りを打ち切る。1名スキーで滑り降りてきた。

滑りも、大分でこづっている。急斜面はスキー板を外すことになった。悪戦苦闘しながらも、延々10時間の行動をよく頑張った。やはり良き指導者の講習を受けた方がいいようだ。テント場にはビールが待っていた。夕方になっても、さほど寒く感じない。

4/25(日)

6時頃に目が覚めた。昨日は行動しても、前日の寝不足で、眠気が襲いアカビの連発だったので、夜はグッスリ寝ることができた。小雨がちの天気の中、2パーティーがスキーで上がって行った。少し林道を滑って、除雪された所から、



熊沢田代



御池下の林道

私だけ雪のある尾根を滑って、そのまま駐車場に出られた。モウカケ沢に小さな橋が架かっており、踏み跡が続いていたので、迷うことなく渡れた。

温泉に入って、帰りは高速に乗らず、下の道をゆっくり帰った。土・日が使えるんだから、1日行動して、1日ゆっくり静かな場所で、キャンプ。これがいいのかも知れない。

4/24 七入 → 除雪終点 → ブナ平台地（設営） → 御池 →

6:00

→ 広沢田代 → 熊沢ノ田代 → 最後の樹林帯 → ブナ平

12:45

13:12

16:00

4/25 撤収出発 8:00 → 9:30 七入駐車場